

第5回 地域密着型デイサービス運営推進会議 報告書

開催日時	平成30年10月3日 14:00～15:30
開催場所	桜町高齢者在宅サービスセンター 2F
参加者	ご利用者家族： 利用者 ご家族 A様（4回目） 地域住民代表： 行政書士 B様 所在地管轄職員： きた地域包括支援センター 職員（以下：包括職員） 桜町センター職員： センター長 認知症対応型通所介護管理者（以下：管理者） 事務員
司会進行	認知症対応型通所介護管理者
書記	事務員
<p>【議事録】</p> <p>1. 開会挨拶</p> <p>2. 平成30年度、事業所関係の状況（センター長）※添付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人内では、文書の統一整備や特に認知症に関する法人内の横のつながりの強化などに取り組んでいる。また、人材確保のため若手職員による魅力発信チームを発足し SNS の活用などを検討中である。 ・法人敷地内一団地化への動きとして、12月頃からヨハネホーム東側を6m道路にする工事と、ホスピス棟裏のブロック塀を低くする工事を始める予定。 ・10/14（日）聖ヨハネ祭と「ヨハネ祭 de かくれんぼ」の案内。 ・ナラティブ・サイトの紹介。 ・ヨハネホームは築33年、桜町センターは28年、建て替えに向けた動きを進めている。 ・平成30年4月の介護報酬改定後も大きな減収もなく維持できているが、人材の確保に苦労している。 ・参考資料として厚生労働省による「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」を配布。 <p>3. 平成30年上期の運営実績報告（管理者）※添付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい特別養護老人ホームに入所された方が多くいたことや、夏の体調不良から入院・入所となり、半年で10名の登録取り消しがあったが、新規20名受け入れている。 ・要介護5の方が減少し、要介護3、4の方が増えた。 ・利用率は68.7%で、半年前よりは良くなっているが、昨年度より下がっている。 ・前頭側頭型認知症の方、パーキンソン病の方、寝たきりレベルの方など重度の方も増えている。軽度の方は一般デイで対応できることもあり、重度の方の受け入れを続けていく。 ・前回報告した、入浴希望者をすべて受け入れていくことも継続し、入浴拒否の方へ対応の仕方など職員間で情報を共有し、スキルアップを図っていく。 	

4. 意見交換、その他

- ・ B 様・・・利用者家族も情報収集、下調べする時代なので、ナラティブサイトも見ていただけると良いのでは。
- ・ センター長・・・ナラティブサイトはまだ内容が充実していないが、今後有効活用していきたい。又、魅力発信チームにも期待している。
- ・ 管理者・・・出来れば笑顔の写真を見ていただきたいが、対外向けには個人情報保護もあり、アピールするのが難しい。ご家族向けにのみ「さくら便り」を発行している。食事の評判が良く行事食などもあるのでアピールポイントになる。
- ・ B 様・・・難しいケースを引き受けてもらえると、同じようなケースがあった時にリピートすると思われる。いざという時には対応してもらえるとという安心感が大切。
- ・ A 様・・・入浴、食事、会話などデイの活動が刺激になって体調保持出来ている。ずっと家にいると同じ人（家族）との対話になるし、考えもしない能力を見逃しているかもしれない。まぶたで合図しているのを、感じるようになった。現在4ヶ所の事業所を利用しているが、色々な所に行く事で刺激になっている。面倒でも自宅に閉じこめず無理してでも外に出すことが良い刺激になる。
- ・ 管理者・・・送り出すのが大変というご家族もある。送り出しのヘルパー利用も活用してもらいたいと思っている。
- ・ B 様・・・前頭側頭型の方はどのような症状ですか。
- ・ 管理者・・・言葉が理解できないことと常識からはずれた言動をしてしまうことが特徴です。つきそいやマンツーマン対応が必要になる場合多い。人によってケースバイケースで、今までにも会話は通じないが筆談だと大丈夫なご利用者様もいた。

5. 次回開催予定： 2019年3月頃

以下 余白